

■ パスワード保護ディレクトリ作成

- 会員専用ページなど、パスワードで保護されたページの設定方法についてご案内します。
- 一部の限られた人のみにページを公開したい場合などに利用する機能です。
この設定が行われたディレクトリ内ページは、管理者側で設定したユーザ名とパスワードを入力しなければ閲覧できません。

1. トップページ「ダッシュボード」タブより「パスワード保護ディレクトリ」をクリックします。

The screenshot shows the Plesk dashboard with the 'ダッシュボード' (Dashboard) tab selected. The 'パスワード保護ディレクトリ' (Password Protected Directory) option is highlighted with a red box. Other visible options include '接続情報', 'ファイル', 'データベース', 'FTP', 'バックアップおよび復元', 'ウェブサイトコピー', '開発ツール', 'PHP', 'ログ', 'スケジュール済みタスク', 'ウェブサイトのインポート', 'アプリケーションのインストール', 'セキュリティ', 'SSL/TLS 証明書', and 'ウェブアプリケーションファイアウォール'.

2. 「保護ディレクトリを追加」をクリックします。

The screenshot shows the Plesk interface for adding a protected directory. The title is 'ウェブサイト ****.jp の下の保護ディレクトリ' (Protected Directory under website ****.jp). Under the 'ツール' (Tools) section, the '保護ディレクトリを追加' (Add Protected Directory) button is highlighted with a red box. Below this, there is a section for '保護ディレクトリ' (Protected Directory) with a button for '保護を解除' (Remove Protection).

3. 新しい保護ディレクトリの作成画面が表示されます。
ディレクトリ名、保護エリアのタイトルを入力し、「OK」をクリックします。

パスワード保護ディレクトリ >

サイト ****.jp 下に保護ディレクトリを作成

設定 ①

ディレクトリ名 *	<input type="text" value="/"/>
保護エリアのタイトル	<input type="text"/>

* 必須フィールド

②

【例】

ディレクトリ名	/member
保護エリアのタイトル	member's only

4. 「保護ディレクトリ○○○を作成しました」と表示され、リスト画面に戻ります。
次に保護ディレクトリにログインできるユーザを作成します。
作成したディレクトリ名をクリックします。

✓ 情報: 保護ディレクトリ /member を作成しました

ツール

 保護ディレクトリを追加

保護ディレクトリ

保護ディレクトリ: 全 2 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/>	名前 ↑	保護エリアのタイトル
<input type="checkbox"/>	/member	member's only
<input type="checkbox"/>	/plesk-stat	ドメイン統計

保護ディレクトリ: 全 2 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

5. 「ユーザを追加」アイコンをクリックします。



6. ユーザ作成画面が表示されます。「ユーザ名」「パスワード」「パスワード確認」(同じパスワードを2回登録)を入力し、「OK」ボタンをクリックします。
パスワードとして利用できるのは右の安全レベルが「強」以上となったもののみです。

パスワード保護ディレクトリ >

保護ディレクトリ /member のユーザ作成

保護ディレクトリユーザ ①

ユーザ名 *

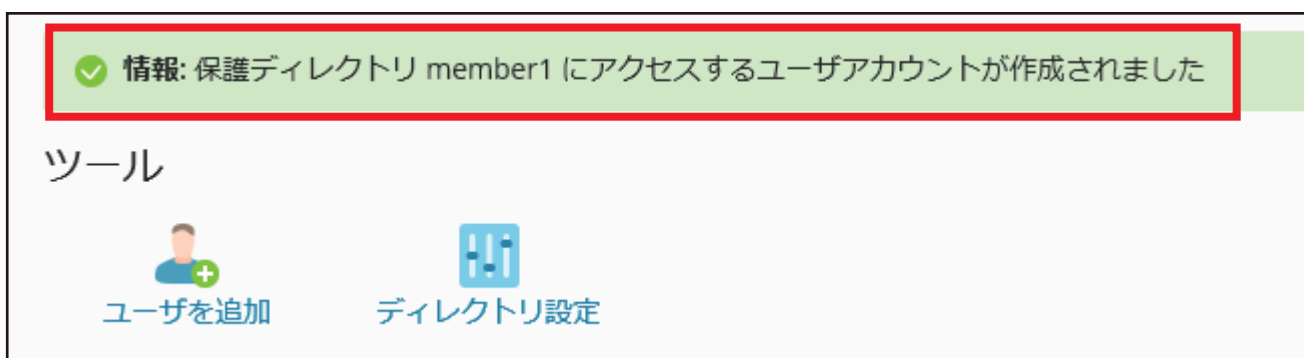
パスワード * 強 (?)

パスワードの確認 *

* 必須フィールド

②

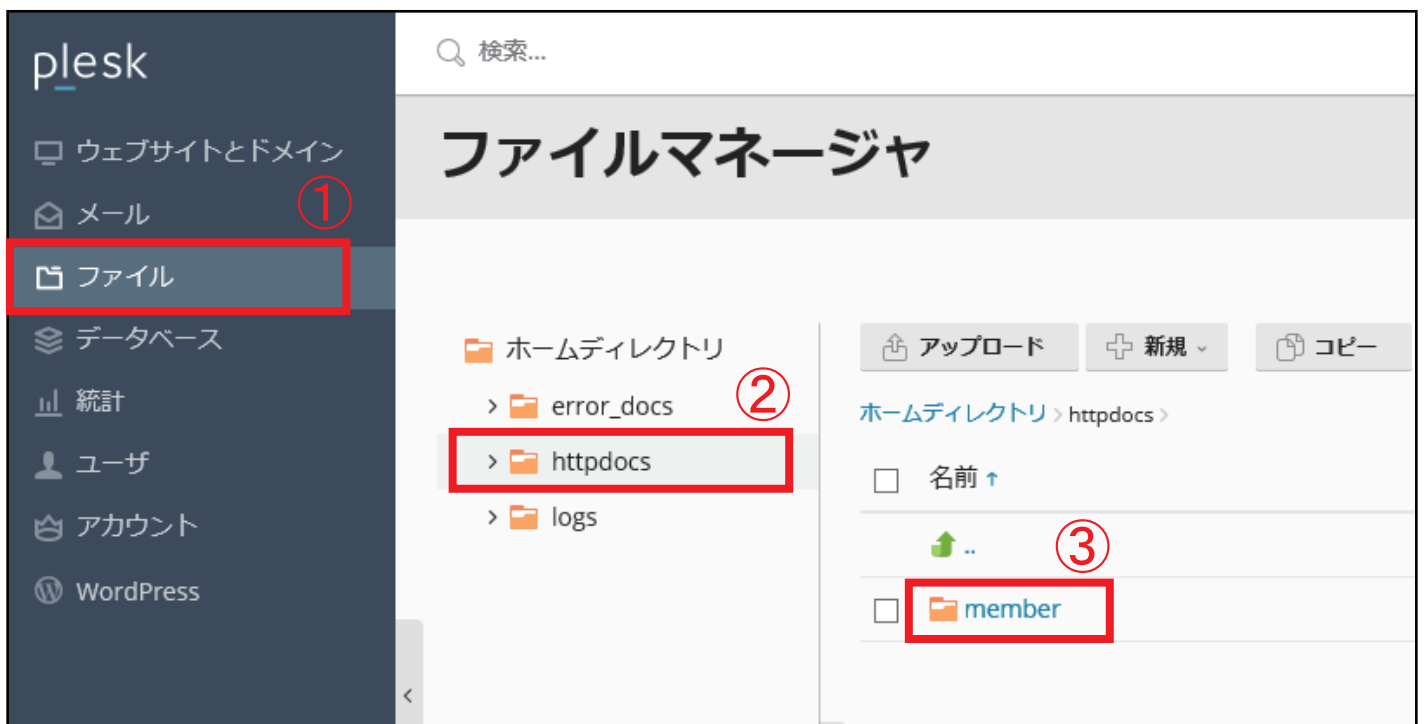
7. ユーザが登録されます。さらにユーザを追加する場合は、⑤⑥の操作を繰り返してください。



■ パスワード保護が正しく設定されているか確認します

ここではテスト用のページを新規作成して確認しておりますが、お客様で作成済みのページをFTP転送していただき、確認することも可能です。

1. 指定した保護ディレクトリ内にテストページを作成します。
「ファイル」タブに切り替え、作成したディレクトリ名をクリックします。
「ファイル」>「httpdocs」>「作成したディレクトリ」



2. 「新規」ボタンをクリックし、「ファイルを作成」をクリックします。



3. 「ファイルを作成する」画面が表示されます。
ファイル名に「index.html」と入力し、「HTML テンプレートを使用」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。

ファイルの追加先: /httpdocs/member
ファイル名 ①
 HTML テンプレートを使用
ブランク HTML ページを作成します。
②
③

4. 作成された「index.html」の右側にあるメニューボタンをクリックし、「テキストエディタで編集」をクリックします。

アップロード 新規 複製 移動 削除 ファイルを展開 アーカイブに追加 その他 設定
ホームディレクトリ > httpdocs > member >
名前 ↑ 変更日 サイズ パーミッション ユーザ グループ
.. 2030/01/01 12:00 ***** ***** ***** ①
index.html 2030/01/01 12:00 ***** ***** *****
コードエディタで編集
HTML エディタで編集
② テキストエディタで編集
ビュー
ブラウザで開く
ダウンロード
名前変更
パーミッション変更

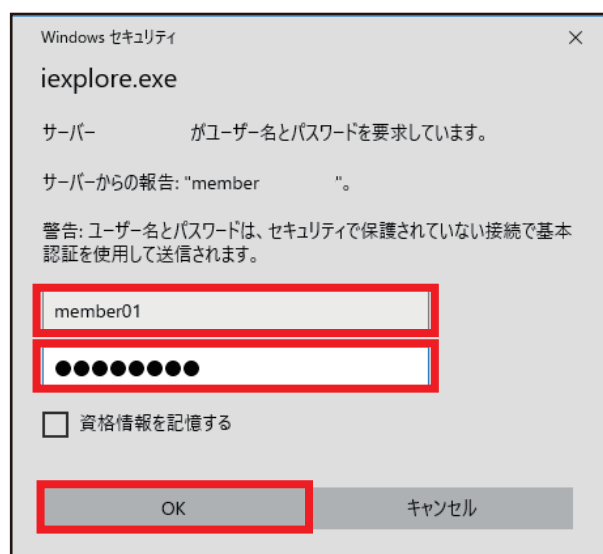
5. <body> と </body> の間に「test page」などの文字を入力し、「OK」ボタンをクリックします。

オリジナルファイルを次のエンコーディングで表示:
UTF-8 リロード
注意: ファイルをリロードすると、保存していない変更がすべて失われます。
<html>
<head>
<title>Untitled</title>
</head>
<body>
test page
</body>
</html>
次のエンコーディングで保存: UTF-8
改行タイプ: Unix スタイルに変換
リセット 名前を付けて保存 適用 キャンセル

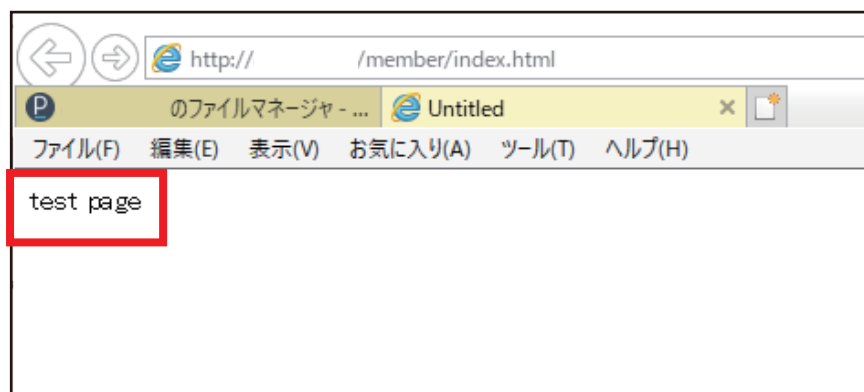
5. 右側のメニューボタンをクリックし、「ブラウザで開く」をクリックします。



6. [Windows セキュリティ] 画面が表示されますので、作成したユーザ名とパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックします。



7. 作成したテストページが表示されることを確認します。 エラー画面となる場合は、パスワード保護ディレクトリの設定、ユーザの設定に誤りがある可能性がございしますので、コントロールパネルにて設定内容を確認・修正してください。 テストページが表示されれば、設定は完了です。



■ パスワード保護の解除

1. 「パスワード保護ディレクトリ」メニューのディレクトリ一覧から、保護を解除したいディレクトリ名の左側にチェックを入れた状態で、「保護を解除」をクリックします。

ツール

保護ディレクトリを追加

保護ディレクトリ

✕ 保護を解除 ②

検索 検索結果をリセット

保護ディレクトリ: 全 2 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

<input type="checkbox"/> 名前 ↑	保護エリアのタイトル
<input checked="" type="checkbox"/> /member	member's only
<input type="checkbox"/> ①	

保護ディレクトリ: 全 2 件 ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて

2. 「解除の確認」画面が表示されます。
「確認して削除を実行」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックします。
※この作業では、ディレクトリ自体は削除されません。誰でも閲覧可能な状態になります。
ディレクトリ自体を削除する場合は、「ファイル」タブから削除する必要があります。

パスワード保護ディレクトリ >

解除の確認

削除

この処理によって、ディレクトリの保護が解除されます。インターネットユーザがそのディレクトリに自由にアクセスできるようになります。

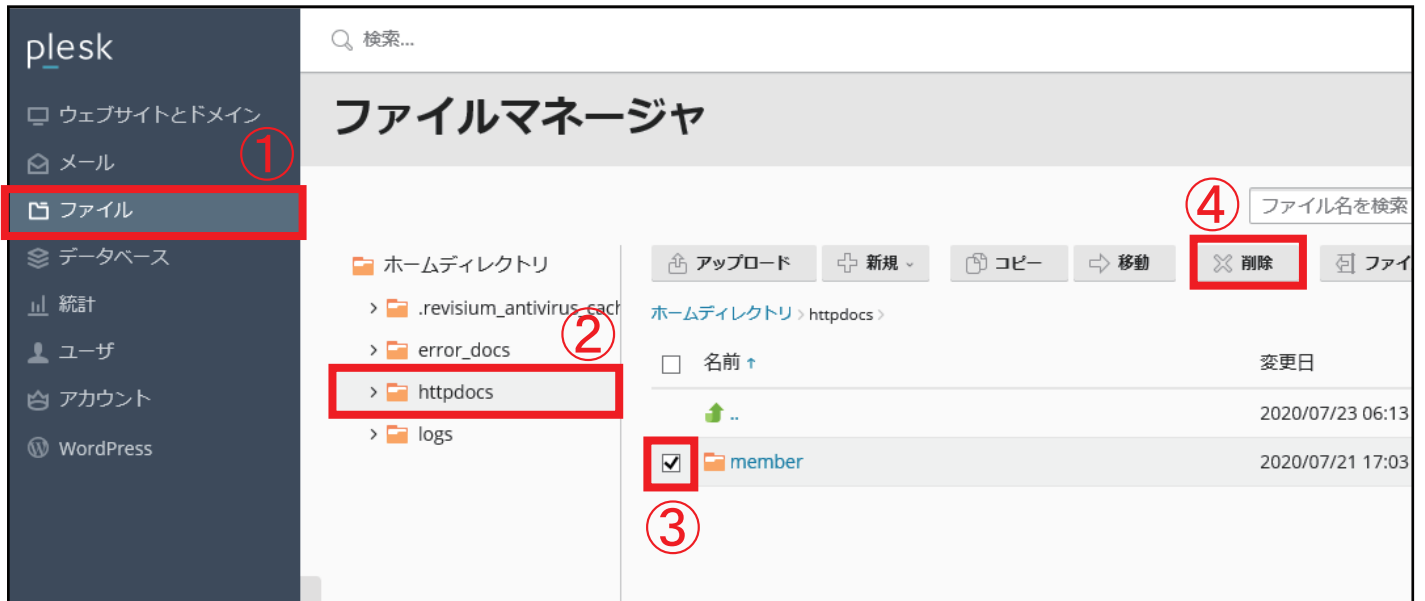
・ /member

① 確認して削除を実行

② キャンセル

■ ディレクトリの削除方法

1. 「ファイル」タブに切り替えます。削除したいディレクトリの左側のチェックボックスにチェックを入れた状態で、「削除」ボタンをクリックします。



2. 確認画面が表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。
ディレクトリ内にあるファイルも合わせて削除されます。
削除されたファイルは復旧することができませんので、削除前に今一度ご確認ください。



3. 「選択したファイルとディレクトリが削除されました」のメッセージが表示されます。
ファイル一覧から該当のディレクトリが削除されていることをご確認ください。

